

第28回 墨田清掃工場 運営協議会

日 時 令和7年1月24日（金） 午後6時00分から

場 所 東京二十三区清掃一部事務組合 墨田清掃工場 2階会議室

目 次

1 操業状況について

(1) 操業状況

① 搬入、搬出 ----- 2・3

② 炉稼働状況 ----- 4・5

(2) 区民の声対応状況 ----- 6

2 環境調査結果について

(1) 排ガス調査結果 ----- 8・9

(2) 排水調査結果 ----- 10・11

(3) 騒音調査結果 ----- 12

(4) 振動調査結果 ----- 13

※ 参考図＝騒音・振動調査地点位置図 ----- 14

(5) 臭気調査結果 ----- 15

(6) ごみ性状調査結果 ----- 16

(7) ダイオキシン類調査結果 ----- 17

(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果 ----- 18

※ 参考図＝調査場所概略図 ----- 19

# 1 操業状況について

## 1 - (1) 操業状況

### ① 搬入、搬出

項 目		単 位	令和6年					
			1月	2月	3月	4月	5月	6月
ごみ搬入	墨田区収集	t	2,341	1,370	1,555	3,912	3,878	3,400
	他区収集	t	1,766	139	142	6,408	8,401	6,251
	持込搬入量	t	92	112	124	2,292	1,077	217
	搬入量合計	t	4,199	1,621	1,821	12,612	13,356	9,868
	墨田区割合 注1	%	56	85	85	31	29	34
	平均搬入量 注2	t/日	175	65	70	485	495	395
	搬入台数	台	4,244	2,565	2,719	11,451	12,537	9,381
	平均搬入台数 注2	台/日	177	103	105	440	464	375
	搬入日数	日	24	25	26	26	27	25
灰搬出	搬出量	t	1,000	0	80	1,426	1,651	1,458
	平均搬出量 注3	t/日	67	0	13	55	61	58
	搬出台数	台	153	0	14	273	311	263
	平均搬出台数 注3	台/日	10	0	2	11	12	11
	搬出日数	日	15	0	6	26	27	25

※ 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

注1 全搬入量に対する割合です。

注2 各月の平均搬入量、平均搬入台数は搬入量合計、搬入台数を搬入日数で除した値です。

注3 各月の平均搬出量、平均搬出台数は搬出量、搬出台数を搬出日数で除した値です。

注4 令和6年1月分は、前回の運営協議会で報告した値です。

## 速報値

令和6年						合計	平均値
7月	8月	9月	10月	11月	12月		
3,304	3,654	3,473	3,808	3,634	3,813	38,141	3,178
377	5,206	6,291	5,463	6,580	5,047	52,071	4,339
367	2,030	2,466	2,085	2,524	142	13,529	1,127
4,048	10,890	12,229	11,355	12,737	9,003	103,740	8,645
82	34	28	34	29	42		37
150	403	489	421	490	346		334
4,577	10,230	11,512	10,728	11,998	8,379	100,321	8,360
170	379	460	397	461	322		323
27	27	25	27	26	26	311	26
256	1,047	1,121	1,306	1,354	1,217	11,915	993
43	39	47	48	52	58		52
52	211	227	259	255	221	2,239	187
9	8	9	10	10	11		10
6	27	24	27	26	21	230	19

## 1 - (1) 操業状況

### ② 炉稼働状況

項目	単位	令和6年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
ごみ 焼却量	t	4,111	0	3,251	13,288	13,695	10,524
稼働 日数	日	10	0	10	30	31	26
停止 日数	日	注1 21	注1 29	注1 21	0	0	注2 4
平均 焼却量	t/日	411	0	325	443	442	405

※ 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

注1 定期補修工事のため、計画停止しました。(令和6年1月11日～令和6年3月21日)

注2 中間点検のため、計画停止しました。(令和6年6月27日～令和6年7月26日)

注3 発電設備不具合のため停止、補修しました。(令和6年9月24日～9月27日)

注4 焼却炉本体設備不具合のため停止、補修しました。(令和6年11月28日～12月4日)

注5 令和6年1月分は、前回の運営協議会で報告した値です。

速報値

令和6年						合計	平均値
7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1,106	13,028	10,900	12,411	10,741	10,251	103,308	8,609
5	31	26	31	27	27	254	21
注2 26	0	注3 4	0	注4 3	注4 4	112	
221	420	419	400	398	380		

1 - (2) 区民の声対応状況

受付年月日	相談者	内 容	対応経過
<div> <p>昨年1月から12月までの間に 工場が要因となる区民の声等はありませんでした。</p> </div>			



## 2 環境調査結果について

## 2－(1) 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		調査年月日		単位
	法律	自己規制値	令和6年5月15日	令和6年6月25日	
ばいじん	0.08	0.02	<0.001	<0.001	$\text{g/m}^3\text{N}$
硫黄酸化物	30	20	<1	<1	ppm
窒素酸化物	84	60	41	41	ppm
塩化水素	430	15	<2	<2	ppm
水銀	50	—	0.48	0.41	$\mu\text{g/m}^3\text{N}$

(注)

- 1 全水銀は環境省が提示した表記方法に則り、定量下限値未満で検出下限値以上の数値は括弧書きで示します。
- 2 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 3  $\text{m}^3\text{N}$ (ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 4 ppmは、100万分の1の割合を表します。

項目	基準値		調査年月日		単位
	法律	自己 規制値	令和6年9月30日	令和6年10月25日	
ばい じん	0.08	0.02	<0.001	<0.001	$\text{g/m}^3 \text{N}$
硫黄 酸化物	30	20	<1	<1	ppm
窒素 酸化物	84	60	38	37	ppm
塩化 水素	430	15	<2	<2	ppm
水銀	50	—	0.27	0.47	$\mu\text{g/m}^3 \text{N}$

## 2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項 目	基準値	調査年月日						単位
			令和6年 2月7日	令和6年 4月5日	令和6年 6月6日	令和6年 8月7日	令和6年 10月4日	令和6年 12月3日	
1	温度	45未満	13.1	20.9	26.8	32.2	31.0	20.8	℃
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.6	6.8	6.9	6.8	6.7	6.8	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	10	6	7	1	5	7	mg/L
4	浮遊物質 (SS)	600未満	2	3	3	1	2	<1	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	30以下	<1	<1	<1	<1	<1	<1	mg/L
6	フェノール類	5以下	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	0.3	0.1	0.1	<0.1	<0.1	0.1	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
12	窒素含有量	120未満	14	8.8	7.7	6.9	9.0	6.1	mg/L
13	燐含有量	16未満	<0.05	0.07	<0.05	0.08	<0.05	<0.05	mg/L
14	沃素消費量	220未満	13	19	10	14	12	5	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	mg/L
16	シアン化合物	1以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
19	六価クロム化合物	0.5以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L

No.	項 目	基準値	調査年月日						単位
			令和6年 2月7日	令和6年 4月5日	令和6年 6月6日	令和6年 8月7日	令和6年 10月4日	令和6年 12月3日	
22	アルキル水銀化合物	検出され ないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレ ン	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
36	シマジン	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
38	チウラム	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	15以下	0.42	0.78	0.46	0.50	0.59	0.49	mg/L
41	ほう素及びその化合物	230以下	0.60	0.43	0.90	0.35	0.65	0.69	mg/L

## 2-(3) 騒音調査結果

調査年月日：稼働時 令和5年12月18日(月)～19日(火)

停止時 令和6年1月15日(月)～16日(火)

調査機関：株式会社CTIウイング

単位：デシベル

時間区分	昼間			夕			夜間			朝		
調査時間	(13時～15時)			(20時～22時)			(0時～2時)			(6時～8時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
①	70	48	49	60	41	46	55	39	40	60	47	48
②		46	47		40	46		38	40		45	49
③		47	48		43	46		42	42		46	48
④		48	49		47	49		45	45		49	51
⑤		50	52		49	50		48	47		49	50
⑥		50	52		47	50		47	47		52	50
⑦		52	52		45	49		41	43		53	71
⑧		50	48		46	47		46	43		49	48
⑨		54	55		47	51		46	46		55	55
⑩		55	59		43	48		42	41		55	48

(調査地点は、P.14を参照してください。)

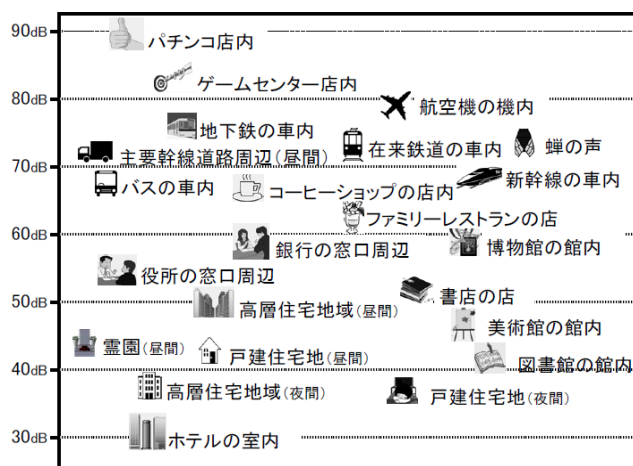


図 騒音の目安(都心・近郊用)  
(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

## 2-（4） 振動調査結果

調査年月日：稼働時 令和5年12月18日（月）～19日（火）

停止時 令和6年1月15日（月）～16日（火）

調査機関：株式会社CTIウイング

単位：デシベル

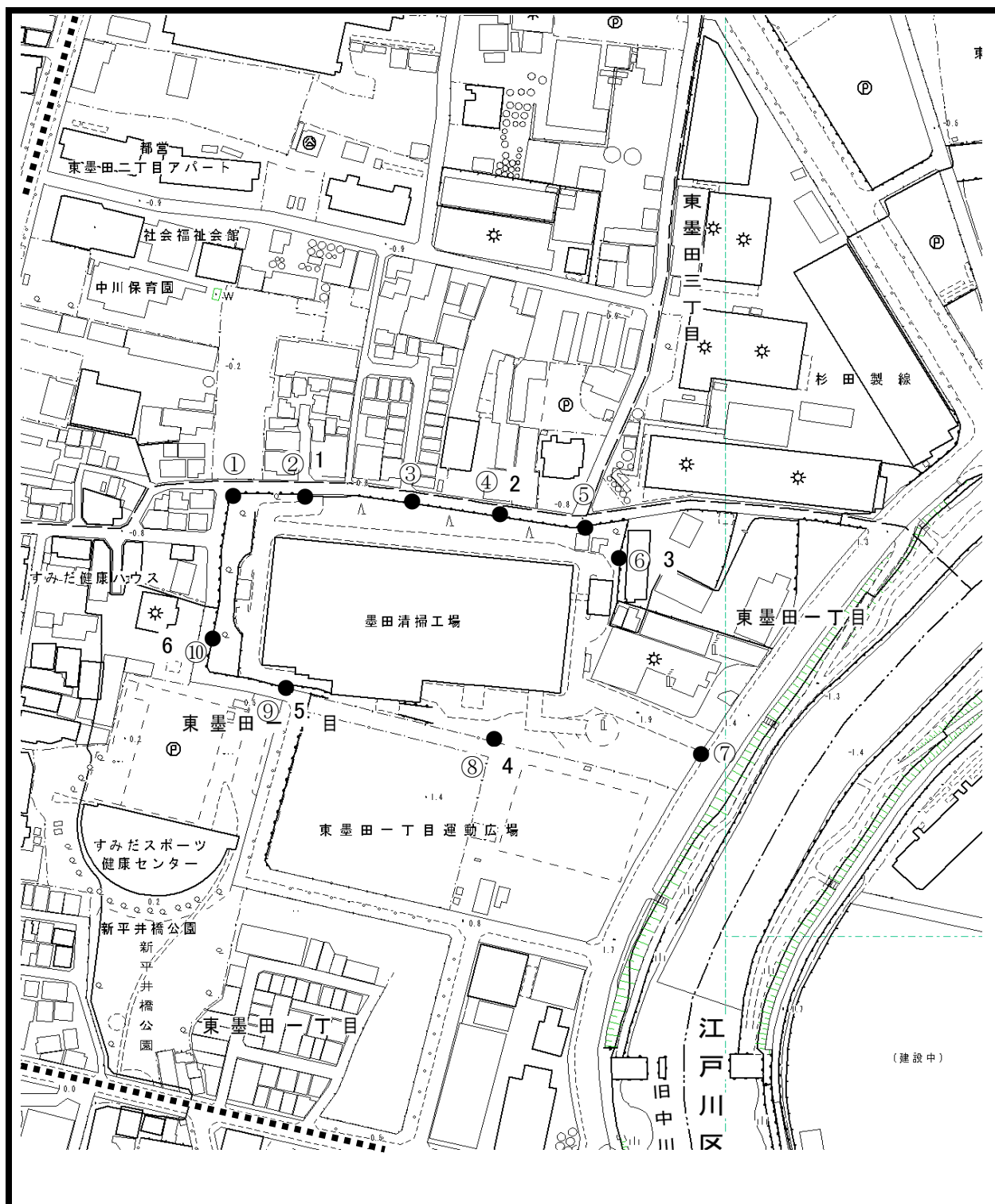
時間区分	昼間			夜間		
調査時間	（13時～15時）			（0時～2時）		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
1	65	44	39	60	30	32
2		43	42		37	37
3		44	41		45	36
4		41	38		38	28
5		38	35		29	26
6		38	38		26	25

（調査地点は、P.14を参照してください。）

【振動のめやす】 出典：「東京の環境2011」（東京都環境局）

デシベル	50	60	70	80	90
状態	人体に感じない程度	静止している人にだけ感じる	大勢の人に感じる程度で、戸、障子がわずかに動く	家屋が揺れ、戸、障子がガタガタと音をたてる	家屋が激しく揺れ、すわりの悪いものが倒れる

# 騒音・振動調査地点位置図



凡 例		<div style="text-align: center;">N</div>  <div style="text-align: center;">縮尺 : 1/2500</div>
-----	都市計画用途地域境界	
●	騒音・振動調査地点	
①	騒音調査地点番号 (①～⑩)	
1	振動調査地点番号 (1～6)	



## 2－(5) 臭気調査結果

調査年月日：令和6年8月20日(火)

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点			定量下限値
		①	②	③	
臭気指数	13	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気を感じられなくなるまで無臭空気で希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

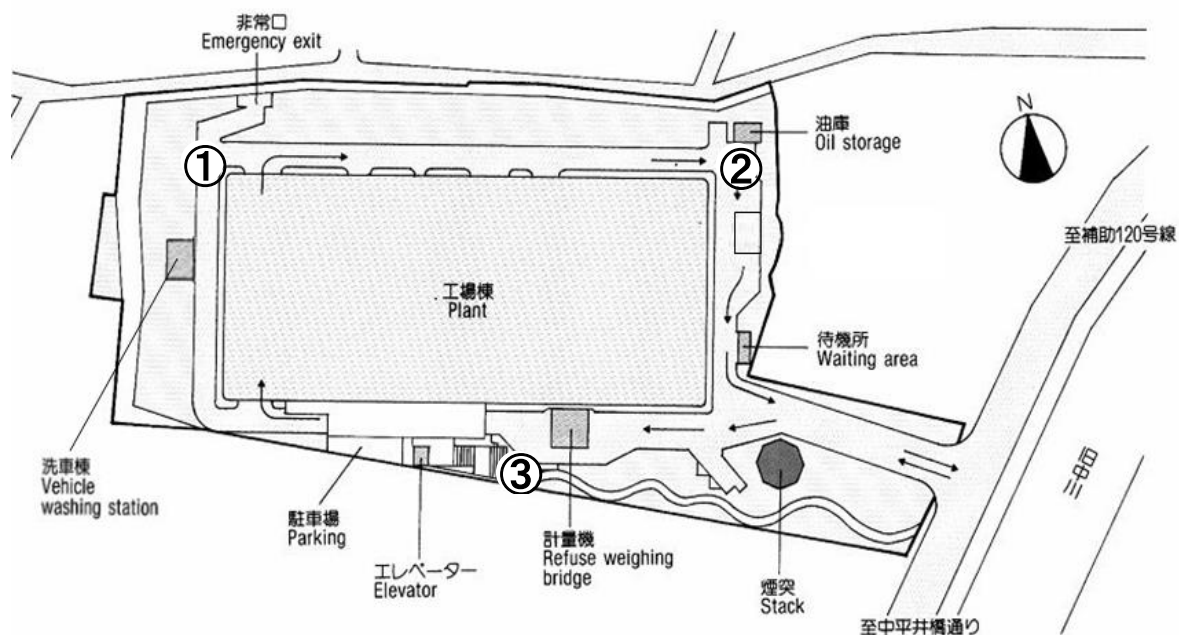
この10倍希釈において臭気を感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

(参考)

臭気指数 =  $10 \times \log(\text{希釈倍率})$

例：試料を100倍に希釈したときの臭気指数  $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

### 【臭気調査地点】



## 2-(6) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

調査年月日 分類項目		(令和5年度) 第3回 令和5年 11月15日	(令和5年度) 第4回 令和6年 1月9日	(令和6年度) 第1回 令和6年 4月26日	(令和6年度) 第2回 令和6年 8月23日	平均値
可燃物		99.30	98.34	99.12	98.97	98.93
	紙類	37.89	40.15	36.50	40.46	38.75
	繊維	6.29	7.35	7.49	3.78	6.23
	厨芥	23.11	20.75	23.47	25.02	23.09
	木草	3.62	4.84	4.75	5.56	4.69
	プラスチック類	23.76	20.45	22.46	21.41	22.02
	ゴム・皮革	1.35	0.96	1.00	0.79	1.03
	その他可燃物	3.29	3.84	3.45	1.95	3.13
不燃物		0.70	1.66	0.88	1.03	1.07
	金属	0.33	0.35	0.38	0.30	0.34
	ガラス	0.07	0.09	0.14	0.17	0.12
	石・陶器	0.01	0.43	0.13	0.00	0.14
	その他不燃物	0.28	0.79	0.23	0.56	0.47
合 計		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(注)  
端数処理のため、平均値または合計が一致しない場合があります。

## 2-(7) ダイオキシン類調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

項目	基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1	0.00000019	令和6年5月15日	ng-TEQ/m <sup>3</sup>
		0.00000098	令和6年10月25日	
飛灰処理汚泥	－	0.15	令和6年8月2日	ng-TEQ/g
焼却灰	3	0.0039	令和6年5月15日	ng-TEQ/g
排水	10	0.000054	令和6年5月15日	pg-TEQ/L

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラム、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムの質量を表します。
- 5 m<sup>3</sup>N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 6 飛灰処理汚泥は、飛灰を薬剤処理(ダイオキシン類対策特別措置法で定められた処理)しているため、基準値は適用されません。

## 2-(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果

- 1 調査年月日 令和6年9月30日(月)から令和6年10月7日(月) (稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺4か所の計5か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:令和4年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	墨田清掃工場	墨田区東墨田1-10-23	0.016	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
2	旧隅田小学校	墨田区墨田5-49-5	0.012	
3	墨田区立第一寺島小学校	墨田区東向島1-16-2	0.012	
4	墨田区立東吾嬬小学校	墨田区立花4-22-11	0.016	
5	葛飾区立洪江小学校	葛飾区東四つ木2-13-1	0.016	

(調査場所は、P.19を参照してください。)

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムの質量を表します。

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
曇後晴後曇時々雨	曇後晴	曇後晴後雨	曇後雨後曇	雨後曇後雨	雨後曇後雨	曇

調査日の気象条件(7日間の平均値)

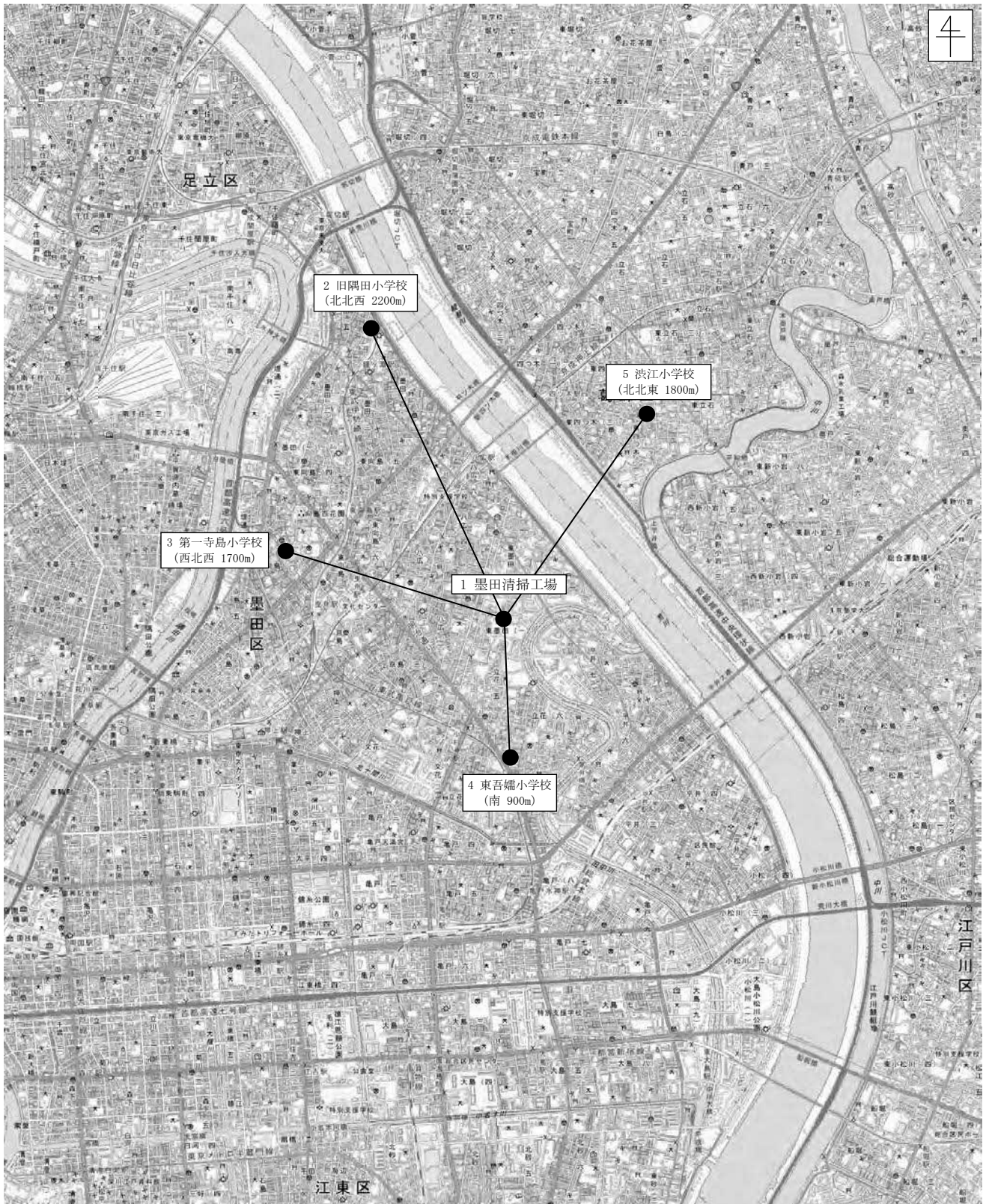
気温	湿度	雨量	主な風向	風速
23.4℃	74%	23.0mm	北北東	2.2m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

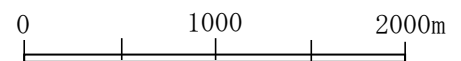
### 6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup>(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 墨田清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.00000019 ng-TEQ/m<sup>3</sup>N: 令和6年5月15日測定)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は39万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.00000000048 pg-TEQ/m<sup>3</sup>Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では墨田清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

# 令和6年度調査場所



「出典：国土地理院地図（GSI Maps）」



調査場所概略図